

# Walk KINJO [ウォーク]

金城大学短期大学部  
広報誌

#01

2016  
年発行

## 爽

やかな秋風  
の中、10月  
24日(土)  
～25日(日)の日程で

第40回金城祭が開催されました。今回のテーマは、40回目にちなみ、「Happy 40 (フォト) ring」。キャンパス内に並ぶ数々の模擬店、医療健康学部棟・社会福祉学部棟・短期大学部棟内の企画展、そして屋外メインステージでのパフォーマンス…会場は、学内外の学生、家族連れのOB、近隣の方々で大いに賑わいました。メインステージのゲストライブには、シンガーソングライターの「ダイスケ」が



来場。「せかいにひとつのフタリ」、「あなたにしかできないこと」などを熱唱してくれました。その他、学生によるコスプレ、ライブコンサート、落語、クラシック演奏に着ぐるみ劇、美術学科によるライブペインティングなど多くの催し物で盛り上がりました。模擬店では、

焼きそば、ギョーザ、焼き鳥、串カツ、フランクフルト、唐揚げ、チュロスなど約50店舗が軒を連ねました。



# 年に一度の Festival! 模擬店数は 県内一!

2日間でのべ3,000名を越える来場者数がありました。お越しいただいた皆様ありがとうございました!

も大変です。ダンス部の舞台は、チケット販売はもちろん、部員達が企業をまわりスポンサーを集めてくることで経済的に何とか成り立っています。その他、経費削減のために衣装を自分たちで一から作ることも少なくありません。

先生自身も大変なのではありませんか?

大変といえば大変です。でもダンスを通して学生の頑張りをしていると、大変というよりも学生を支えたいという気持ちの方が強くなりますね。人とコミュニケーションをとることが苦手だった学生が、大きな声で挨拶をするようになり、目力がついてくるのを見てみると、やりがいを感じます。また、OGOBとしてダンス部を支えてくれている卒業生が数多くいてくれることも力になりますね。

ダンス部の魅力って何ですか?

何とんでも皆で一つのものをつくり上げていくということです。企画から、振付、広報、資金集めといった運営にかかわる仕事を全員で行います。皆が一体となって何かを成し遂げるといような経験が今では少なくなってきましたので、公演後の達成感には格別のもがありますね。そんな人間関係を築いていくには、give & takeの精神ではなく、give & giveの心が大切だと思っています。

去年は陛下御臨席の植樹祭でも演舞を披露されましたね

県から、踊れる若者を200名ほど集めてほしいと言われましたので、卒業生や金城以外の大学ダンス部、高校生にも声をかけました。4月に入社したばかりの卒業生も、天皇陛下の前で演舞を披露したいと会社に伝えると、ほとんどの会社が練習のための便宜を図ってくれたそうです。20～30分の演舞でしたが練習には3ヶ月以上もかかりました。

植樹祭の演出で工夫された点はどんなところでしょう

石川の里、海、川、森をテーマとした振付を依頼されました。海のパートでは、きらきら光るバトンの動きと、アクロバティックなブレイクダンスを合わせ、大海原に見えるイワシの群れを表現しました。また、森の高い木々を表現するためにチアリーディングを取り入れました。

今後の抱負を聞かせてください

あと3年でダンス部も20周年を迎えます。20周年の記念イベントをどうするか、今から頭を悩ませています。それから私自身、肉体的に40歳、50歳で今の動きを維持するのは難しいので、一緒にダンス指導をしてくれる方を探さなければと思っています。20年というのは、ダンス部の卒業生が親となって、その子どもがまた金城のダンス部に入るということが起こります。親子でダンス部を語ってもらえるようになると、嬉しいですね。

建学の精神「遊学の精神の涵養」、「良妻賢母の育成」を継承発展させ、時代の要請に応える学園の創出に努める

金城学園 創立110周年 記念式典・祝賀会 等を挙行

金城学園は、7月4日、創立110周年記念式典を挙行し、1,500名を超える関係者が110年の節目を祝いました。

午前、会場となった石川県立音楽堂では、開式に先立ち、金沢に本拠を置き日本で最初の常設プロフェッショナル室内管弦楽団として広く全国に知られている「オーケストラ・アンサンブル金沢」による弦楽四重奏が披露されました。

記念式典のはじめに、加藤真一理事長が、1904(明治37)年に加藤廣吉・せむ夫妻によって創設された金城遊学館を淵源とする学園の建学の精神・遊学の精神の涵養と良妻賢母の育成に基づく110年に及ぶ教育実践を振り返り、今後も、建学の精神を継承発展させ、時代の要請に応える学園の創出に努



める旨の式辞を述べた後、文部科学省義本博司大臣官房審議官(高等教育局担当)、谷本正憲石川県知事(代読:黒野嘉之総務部長)及び山田憲昭白山市長から

祝辞が寄せられました。

当日の17時からは、金城大学看護学部及び大学院リハビリテーション学研究所開設並びに加藤晃学園長回顧録出版記念を兼ねた祝賀会が金沢市内のホテルで開催されました。学内外から270名が参集した祝賀会は、金沢工業大学学園長・総長で日本私立大学協会副会長の黒田壽二氏が乾杯の音頭を務め、東京五輪・パラリンピック大会組織委員会会長として大会成功に向けて東奔西走中の森喜朗元内閣総理大臣をはじめ、県選出の全国議員のほか、石川県副知事、白山市長、野々市市長、県議会・市議会議員が来賓として出席して祝辞を述べました。

なお当日午後、義本博司大臣官房審議官(高等教育局担当)を講師に迎えて、「未来を担う学生への期待～これからの大学教育を展望して～」と題した創立110周年記念特別講演会も開催し、金城大学及び同短大部の学生約300名が聴講しました。

### Interview

## 「give & giveの心」 ダンス部定期公演 「ARIGA13」を終えて

# 1999

年創部のダンス部。これまでの17年の間に500名以上の卒業生がダンス部から巣立っています。中には、プロのダンサーとして活躍している卒業生たちもいるそうです。部員約60名、年間40回を超えるイベントの参加を指導してきた廣瀬先生のお話を伺いました。

13回の定期公演「ARIGA13」はいかがでしたか?

今回は13回目ですので、感謝の気持ちと13(とおさん)をかけて、「ありがとおさん」というタイトルにしました。感謝の気持ちが伝わるような振付を考えました。部員に卒業生も加わり総勢100名が舞台上に立ち、1,500人を超える多くのお客さんに来ていただきました。

100名の舞台となると準備は大変だったのではないのでしょうか?

振付をおぼえたり練習をしたりすることももちろん大変ですが、運営資金を集めること



ビジネス実務学科  
廣瀬 元

堀「短大を運営するにあたって、どんなことに一番気を遣ってらっしゃいますか？特別な取組や想いがあればお聞かせください。」

学長：もちろん、「金城短大に入学して良かった」と全ての学生に思ってもらえることです。短期大学ですから、講義や研究といった学問的な授業に偏らずに、演習や実習科目を充実させ、さらにインターンシップやボランティア活動、実習やオーディションなど学生と外部の方々が接触する機会を数多く提供することに気を遣っています。

堀：私は医療事務の仕事に就きたくて資格取得を目的に短大に入学しましたが、確かに今思い返すと、資格よりもプラスアルファの部分が大きかったような気がします。資格用の座学の勉強に加えて、ビジネスマナーやインターンシップでの経験は、貴重でしたね。



加藤 真一

金城大学短期大学部 学長

出身大学：金沢大学法学部法学科  
大学院：大阪大学大学院法学研究科公法専攻  
ジョージア大学法科大学院（米国）  
専門分野：法学、教育学  
趣味：スポーツ観戦、将棋、囲碁

# 学生 対 談 学長

## テーマ 「金城短大の魅力」

本学はどのような理念でどのような教育を提供し、それがどのように社会に役立っていくと考えているのでしょうか。短大の根幹ともいえる考え方やビジョンを巡って、学長と各学科を代表する学生との直接対談が実現しました。緊張ぎみの学生が自己紹介で2年間を通して感じた各学科の魅力について語ると、学長が冗談でやわらげるなど和やかな雰囲気での対談がスタートしました。



堀 莉沙子

ビジネス実務学科

出身高校：石川県立金沢伏見高等学校  
学生生活：医療事務の仕事に就きたかったので、医療事務の資格取得に励みました  
進路：病院での医療事務



福田 遥香

幼児教育学科

出身高校：石川県立金沢錦丘高等学校  
学生生活：障害者支援、世代間交流事業など学外のボランティア活動に積極的に参加しました  
進路：大阪大学の幼児教育系学部へ編入



中野 公美子

美術学科  
油画・日本画コース

出身高校：小松市立高校 普通科 芸術コース  
学生生活：学生の時ぐらいでしか半日以上絵を描ける時間はないと思い、制作に力を注いできました  
進路：画材屋に就職 販売・営業

福田：ボランティアという点では、学科の先生に障がいをもった方々と接する機会を作っていただいたことも印象に残っています。座学だけでは、学べなかったことが沢山ありました。

中野：私にとっては、海外研修でウィーンやプラハを巡ったことが大きかったです。美術というと1日中部屋にこもって作品に取り組むというところがありますが、短大のカリキュラムには学生を学内に閉じ込めない配慮を感じます。また、美術だけではなく外の学科であるビジネス系の勉強ができたことも、就職などで役に立ちました。

学長：先生方も、学外で様々な活躍をされています。卒業後に金城短大のことを思い起こしたとき、色々な経験ができて良かったと思ってもらえるとうれしいです。全ての学生の希望に叶うかどうかは分かりませんが（笑）。

福田「学生にはどのような社会人になってもらいたいですか？」

学長：金城短大の設立の理念は、「手づくりの温かさをもった教育」と「金城から地球を歩こう」です。この理念の下で行われる教育を受けた学生が、社会に出て様々な場面で活躍してもらいたいと思っています。皆さんは、金城短大の理念を意識したり、実感したことはありますか。

堀：地球を歩くという点では、海外研修でハワイやロスに行き、私たちとは別の価値観で生きている人々を実際に見ることができたのは、本当に心に残りました。食文化の違いも新鮮でしたし、英語の必要性も強く感じました。世界を見た！という感じです。

福田：私もオーストラリアでの海外研修で、幼児教育に対する価値観の違いに驚かされました。現地では、幼児に好きな時に好きな量の食事をさせたり、お昼寝の時間以外であっても眠たい時に寝させるという自由な保育をしています。刺激的でした。手作りの温かさをもった教育という点では、実務経験の豊富な先生方と接しているうちに、人との関わりが好

きになったり、人との距離感を意識するようになったりしました。

中野：美術学科は、実際に画家であったり染色家や漫画家であったりと、現場の第一線で活躍されている先生が教えて下さるので、同じ絵を描くという作業でも、分野によって大きく考え方が変わることを学びました。こういった先生とのふれあいから学ぶことこそが、手作りの温かさを持った教育だと思います。

中野「学長が学生だった頃のお話をお聞かせください。」

学長：そうですね。学生時代と言っても、大学を出てから、大学院、米国留学と経験していますので、それぞれに学んだことや印象に残っていることは異なりますが、いずれの経験も現在の学長職に役立っていると思っています。大学は法学部卒ですが、そこで身につけた法律知識やリーガルマインド（法的思考力）は今で

も有用です。

堀：勉強で辛かったことなどありますか。

学長：大学院での勉強がたいへんでした。大学時代とは、質・量ともに要求されるレベルが違っていました。それでも、修士論文の作成などで一つの成果を出すためのプロセスのようなものを学べました。本学のゼミナールや特化教育、卒業制作などの各学科のカリキュラムでも、形は違って同じような学びができるのではないのでしょうか。

福田：留学されたことについてお聞かせください。

学長：異文化と日常的に触れることができたのは、たいへん貴重な経験でした。特に、私の進学したアメリカの大学院の課程には世界中から学生が集まっていたので、様々な国の人達と交流できました。アメリカのプロ野球やプロバスケットボールの試合を何ゲームも生で観戦できたことが、本当は一番印象深いことかもしれません（笑）。本学の多くの学生に、できれば海外研修や留学プログラムに参加して欲しいと思っています。

中野：学食ではどんなものを召しあがっていらっしゃいましたか。

学長：カツカレーです。この一年間、それ以外のものを食べた記憶がありません。

「本学の魅力を今後更に高めていくにはどうすればいいか、お考えをお聞かせください。」

学長：皆さんはどのように考えますか。

福田：社会福祉学部のこども専攻ともっと交流したいと思います。その他、学舎の建て替えや、便利な駐車場も学生からの要望は多いと思います。

学長：学校の設備や学食などで充実してほしいところはありますか。

堀：トイレが古いのがちょっと気になります。

福田：校内を歩いていると建物の老朽化が…

中野：私は作業でどのみち汚れるのであまり気にならないです（笑）

堀・福田・中野：それから、学食が混むと食べる場所に困ったりします！

学長：全て実現するには、10年計画ですね（笑）。

堀：短大の魅力のお話ですが、私は医療事務を希望していますので、四大の看護学科や医学部との交流ですね。

中野：私も美大との交流を希望します。

学長：金城大学やその他の大学との交流については、それほど難しいことはありません。先生方や校友会などに強く要望してください。短期大学としての魅力をもう少し大きく捉えようと、授業だけではなく、課外活動も一つの重要な要素だと思っていますので、そういう機会もできるだけ提供していきたいと考えています。学内外の授業のほか学校行事や課外活動など、いろいろなことに感動し、また経験を積んでもらって、満足して卒業してもらおう。それを糧にして職場や地域で活躍し、本学の卒業生が高く評価される。こういう好循環をうまく構築していきたいですね。

堀・福田・中野：ありがとうございました。

キラキラのキャンパスライフを  
歩む学生たちをご紹介します

# KINJO WALKER

01

**松山 聡美**

ビジネス実務学科



今しかない！海外と日本の魅力を肌で感じる

02

**田村 宗太朗**

美術学科  
デザイン・映像コース



写真とデザインと刺激し合える仲間たち

03

**宮田 紗里衣**

幼児教育学科



経験を自信に変え子ども目線の保育者へ

**短**大生活で一番楽しかったことは1年生のときに行った海外研修旅行です。研修旅行ではずっと行きたいと思っていたロサンゼルスとハワイへ行きました。日本とは全く違った文化や世界を知ることができ、多くの刺激を受けました。この研修旅行をきっかけに、短大時代にもう一度外国へ行くこと決めました。私は高校生のときから「ONE DIRECTION」のファンで、いつか本場で彼らのライブに行ってみたくてという夢がありました。社会人になるとなかなか時間がとれなくなるので、「今しか行けない！」と思い、2年生になってからロンドンに行くことを決めました。ロンドンでは、日本とは全く違う街並みに驚きました。THEヨーロッパといった雰囲気の古い建物が並び、街全体が世界遺産のようだと思いました。ライブはもちろん最高でしたし、ロンドン観光も満喫できましたので、素晴らしい旅行となりました。短大生活の中で長年の夢を叶えることができたことは、一生の思い出になりました。



短大の授業で一番印象に残っていることは「ホスピタリティビジネス論」という授業です。この授業では日本のおもてなしについて学びました。茶道、着物、和菓子などの日本文化をはじめ、おもてなしとは何か、お客様が求めているものは何か、お客様が求めているものを提供するにはどうしたら良いか、などについて学びました。実際に旅館に泊まり、旅館ならではのおもてなしを体験してみたりもしました。昔から海外の文化にはとても興味があったのですが、この授業がきっかけで日本の文化について学ぶことができ、また体験することもできたので本当によかったです。私はホテルに就職が決まっているので、社会人になっても短大で学んだこと、短大で経験したことを活かしていきたいと思っています。

**金**城の美術学科は、学生一人一人がやりたい事ののびのび行える学科だと思います。そして先生方はそれを全力でサポートしてくれます。どのコースの先生方もその道で活躍されているプロの方々です。ですので僕もやりたかった「写真」と「デザイン」に2年間思い切り打ち込むことができました。

1年生の間はそれぞれのコースで基礎を学び、2年生になると公開オーディションが始まります。外部からプロの方をお呼びし審査員をしていただきます。学生は自分たちの作品をプレゼンテーションし、評価していただくカリキュラムです。プレゼンテーション力はどの分野でも必要な力ですが、デザイナーには特に求められる力だと思います。僕は本来大勢の前で話すのが苦手なのですが、この授業でかなり鍛えられました(笑)制作ではかなり遅くまで残ったりしましたが、みんなで一緒に頑張ってるっていう雰囲気が結構楽しかったりするので。

美術学科ではもちろん、美術に関することはたくさん学びました。先生方にはデザインのことから普段の悩みまで、いつも僕たちの目線になって話を聞いてくれて本当にお世話になりました。時には遅くまで一緒に残ってもらって僕らの制作に付き合ってもらったこともありました。そして一緒に過ごした仲間たち。一緒にふざけあったり、時にはデザインや漫画のことについて熱く語り合ったり。お互いに刺激し合い、高め合える仲間に出会えたことがこの大学に来て一番良かったと思うことです。きっとこの出会いは今後も僕の糧となり刺激になってくれると思います。



今後はデザイナーとしてここで学んだことを十二分に活かして、デザインを通じて日々の生活を更により良いものにできるよう頑張っていきたいと思っています。

**高**校生の頃、保育士になりたいと思い、2年間で保育士資格と幼稚園教諭2種免許の2つが取得できるということや着ぐるみ作りができるなど他では体験できないことができるというところに惹かれこの金城短大への進学を決めました。

短大の授業は保育者になるために必要な知識や技術を学べるものばかりでとても充実した内容でした。特にクラスの友達と子どものように楽しく遊び感覚で学ぶことができた児童文化という授業や子どもの保健Ⅱの授業では、保育の現場で役立つ実践的な技術が学べるものばかりでとてもやりがいを感じました。



二年次からはじまった特化美術の授業では、自分の興味のあるものを重点的に学ぶことができ、実際の保育園に足を運んだり、小松市にある絵本館では来館した子どもたちに絵本の読み聞かせを行うなど様々な体験ができ、自分の力にもなったと感じています。

2年間での最後のイベントでもあるミュージックフェスティバルでは振り付け、衣装、小道具すべてを学生で考えて作りました。限られた時間の中で、より良いものにしてと皆で協力し合いながら頑張ることが出来たので、終わったあとは達成感がありました。皆で力を合わせて作りあげることができたことがとても嬉しく、忘れられない素敵な思い出になりました。

この2年間で沢山の経験を積み多くの学びを得たことは将来保育者として働く際に必ず生きてくると思います。私はこれまでの経験を自信に変え、子どもの気持ちを受け止め、子ども達が生活しやすい環境を整えてあげられる保育者になるため努力し続けていきたいと思っています。また、保護者や地域の子育て家庭に対する支援もできる保育者を目指していきたいと思っています。

平成27年度

**教員紹介**



- ビジネス実務学科(13名)
- 幼児教育学科(17名)
- 美術学科(7名)
- 専攻科福祉専攻(3名)

3月末日まで在職の4学科の専任教員をご紹介します。

※名列順

 ビ/井戸 健敬	 ビ/井上 克洋	 ビ/関森 喜美	 ビ/岡野 絹枝	 ビ/加藤 博	 ビ/下川 治美	 ビ/瀬戸 就一	 ビ/中原 亜紀美	 ビ/能 雄司	 ビ/廣瀬 元
 ビ/藤元 宏一	 ビ/矢澤 建明	 ビ/若月 博延	 幼/青山 幸司	 幼/朝倉 喜裕	 幼/和泉 美智枝	 幼/ガート・ウエスタハルト	 幼/遠藤 伊津子	 幼/佐々木 賢二	 幼/百海 智
 幼/中村 明成	 幼/野田 哲郎	 幼/林 良征	 幼/三浦 哲志	 幼/水上 和子	 幼/村上 知子	 幼/森田 ゆかり	 幼/山田 紀子	 幼/吉岡 利恭	 幼/米川 祥子
 美/新井 浩	 美/大谷 友理	 美/権田 宣子	 美/東田 修一	 美/堀 一浩	 美/本山 二郎	 美/和田 純樹	 専/五十嵐 峰子	 専/舞谷 邦代	 専/山根 淳子

## 御入学おめでとうございます 平成 27 年度 第 40 回 入学式

入学式が4月2日、白山市松任文化会館にて行われ、幼児教育学科、美術学科、ビジネス実務学科、専攻科福祉専攻、美術学科研究生、留学生別科の合計313名が希望に胸をふくらませ本学の門をくぐりました。加藤真一理事長兼学長の式辞では、本学の歴史、建学の精神、「金城から地球を歩こう」の設立理念について説明がありました。宣誓では、新入生代表の阪根千尋さんが「一步社会人に近づくと期待を胸に日々の努力を重ねます」と誓いました。後半は、遠藤先生より校歌が披露されました。入学式終了後は、本学にて新入生オリエンテーションと保護者説明会を行い、新入生は慣れないながらも本学の一員として踏み出すことになりました。



## 模擬企業ガイダンス

1月29日(木)、美術学科とビジネス実務学科の1年生を対象に模擬企業ガイダンスを開催しました。模擬企業ガイダンスとは、実際に企業や医療機関等の団体の人事担当者を本学にお招きし、本番の企業ガイダンスながらの面接会を行う就職活動のための演習です。今年は、企業15社と2つの医療機関に参加いただきました。学生たちは人事担当者による会社の説明を聞き質疑応答を行った後、懸命に自己PRを行いました。人事担当者から一人ひとりに渡された個別のアドバイスをしっかりと受け止め、学生たちは就職活動本番に向けて準備を進めます。



## 平成 27 年度 第 40 回 卒業式

卒業式が平成28年3月16日(水)白山市松任文化会館で開催され、幼児教育学科154名、ビジネス実務学科95名、そして美術学科68名の合計317名が希望を胸に本学から巣立ちました。全学を代表して美術学科の南部成美さんに卒業証書・学位記が授与され、幼児教育学科1年の麻績楓さんの送辞に、ビジネス実務学科の田村涼夏さんが答辞に代りました。本年は特別表彰として、優れた漫画制作のみならず学生生活でも中心的存在として他学生に影響を与え続けた美術学科の堀圭太さんに理事長賞が贈られています。卒業生一同は夕方から金沢東急ホテルで行われた卒業パーティーにも参加し、卒業の喜びをともに分かち合いました。



薫る5月、陸上競技場、野球場、日光アリーナを会場に、恒例の体育祭が15日に開催されました。この日の天候は曇りで、屋外競技には絶好の日より。夕方からは雷雨との予報もありましたが、ときおり薄日が射す好天に恵まれました。午前中にバレーボール、バスケットボール、ドッジボール、ポートボール、フットサル、ソフトボール、午後より綱引き、チームジャンプ(大縄跳び)、リレーが行われました。各競技の上位チーム表彰の後、ブービー賞や飛び賞など、下位成績チームにも景品が贈呈されました。クラスごとの総合成績は、1位が幼児教育2C、2位幼児教育1A、そして3位がビジネス1Cでした。



イベント・大会・式典など3学科  
共通の1年間の歩みをご紹介します **2015.04 → 2016.03**

## 北陸三県 第48回 私立短期大学 体育大会

第48回北陸三県私立短期大学体育大会が7月11日(土)～12日(日)の2日間、富山短期大学を主な会場として開催されました。バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、ソフトテニス、ソフトボールの7競技に76名の本学選手が出場しました。天候にも恵まれ、全競技無事に試合を終えることができました。バレーボール2位、バスケットボール3位、卓球シングル2位・ダブルス3位、ソフトテニス団体2位・ダブルス3位の好成績をおさめました。



## 平成 26 年度 金城学園財務概要

消費収支計算書		貸借対照表	
消費収入の部		資産の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	2,393,921	固定資産	9,893,171
補助金	801,189	有形固定資産	9,433,347
その他	229,565	その他の固定資産	459,824
基本金租入額	-558,596	流動資産	2,424,121
消費収入の部(合計)	2,866,079	資産の部(合計)	12,317,292
消費支出の部		負債・基本金・消費収支差額の部	
科目	金額	科目	金額
人件費	2,129,418	固定負債	1,829,086
教育研究経費	782,504	流動負債	1,045,975
管理経費	435,852	基本金	12,963,120
その他	30,917	消費収支差額	-3,320,889
消費支出の部(合計)	3,377,686	負債・基本金・消費収支差額の部(合計)	12,317,292
当年度消費支出超過額	511,609		

## 合同企業説明会

金城大学を会場に、石川県中小企業家同友会主催の合同企業説明会が5月30日の土曜日に開催されました。本学の大学生と短大生合わせて63人の学生達が、緊張した様子で企業ブースを訪問しました。この3月に卒業したばかりの先輩が新入社員として参加した企業もあり、「私も、就活時期はものすごく気持ちが重かったけど、動き続ければご縁のある企業に決まるよ」と、後輩達にエールを送ってくれました。その言葉に励まされながら、いくつもの企業ブースを回り、熱心に担当者の話を聴く多くの学生の姿が見られました。



## 七夕飾り

7月7日は七夕。残念ながら、天気には恵まれず天の川は見えませんでした。短大入り口の玄関ホールには1週間前から大きな笹と短冊が置かれ、学生が自由に願い事を書いて吊るせるようなコーナーが設けられました。就職内定や検定合格を願うものから恋愛に関する願い事、世界平和までたくさんの短冊が吊るされました。



## 電飾イルミネーション点灯式

8年目を迎えたイルミネーション点灯式が、12月14日17時から開催されました。「雪吊り」をイメージしたイルミネーションには、学生、教職員、西南幼稚園の園児保護者など150名が集まりました。加納大学副学長と加藤学園副理事長の挨拶の後、西南幼稚園園児によるクリスマスソングが披露され、サンタさんトナカイさんからプレゼントが園児に渡されました。このイルミネーションは、1月28日までの約1か月半実施されました。

### New Face



ビジネス実務学科

## 藺森 喜美

私は長い間、高校の教育現場に身を置き、教えながら、教えられながらの日々を送ってきました。今でも、つくづく思い出すのは、あの高校生たちのパワーや可能性がいかに大きかったかということです。人との出会いの中で、挫折や葛藤を乗り越え、大きく成長していく姿は、時には頼もしく、時にはまぶしくさえ感じられたものです。今はまた、ここ金城のキャンパスで、学生の皆さんの驚くパワーをひひしと感じる日々を送っています。いろいろな出来事や様々な人との出会いの中で、どんなに大きく成長していくのか、楽しみです。



幼児教育学科

## 村上 知子

金城大を卒業後、保育の現場で仕事をしました。子どもと時間を共有し、一緒に笑ったり、驚いたり、大変なことも多かったのですがそれ以上に有意義で楽しいことが多く、子ども達の笑顔に囲まれた大切な時間でした。しかし、ベテランと言われる立場になると、自分の保育について考えることが増え、もう一度学びたいと考えるようになり、専門学校の教員をしながら、再び学び始めました。

平成27年度より、ご縁があって母校に戻り、私が現場等で学んできたことを後輩である学生に伝える場を与えて頂き、大変光栄に思っております。未熟ではありますが、精一杯努めて参りますので、宜しくお願い致します。

# 新入生合宿研修

**4**月26日～27日、国立能登青少年交流の家において1泊2日の日程で新入生合宿研修を行いました。今回の合宿研修のテーマは、「キャンパスマナーとコミュニケーション」「友達ネットワーク」「チームワーク」の3つです。初日に千里浜で休憩をとり昼前に交流の家に到着した新入生は、午後からコミュニケーションに関するグループワークを行い、レクリエーションを楽しみました。夕食後にマナー研修を行い、初日は終了です。2日目は、気多大社までのウォーキングとビューティ演習、野外炊飯を行いました。2日間の研修で、コミュニケーション力とチームワーク力が向上し、友達ネットワークがより強化された新入生合宿研修となりました。



合宿でキズナが深まりました。これから2年間がんばるぞー

# 就活合宿 開催

**1**年生対象の就活合宿が、2月11日～12日、白山青年の家で開催されました。1日目の研修では履歴書を作成。自己PR、学生時代に力を入れたこと、志望動機について、何度も先生の指導を受けながら長時間粘り強く取り組み、全員書き上げることができました。2日目午前中は、グループ面接と個人面接を行いました。学生たちは「1月の模擬企業ガイダンスよりも緊張した」と話し、自分のことを面接で語る難しさを実感したようです。午後には、就職活動にふさわしいメイクアップを学び、きりっと清楚に身なりを整えたところで、履歴書用の写真を撮影しました。今回の研修で、採用試験の応募から面接試験までを本番さながらに行い、今の自分に何が足りないのか、どのような準備をしたらよいのかを、学生一人ひとりが確認することができました。



# 産学連携ゼミナール中間発表会

「**産**学連携ゼミナール」中間発表会が7月31日に開催されました。本学科のゼミナールでは、10名程度の学生が1人の先生のもとで専門のテーマをより深く研究し、年に2回発表を行います。中間発表会当日は定期試験の最終日でスケジュール的に大変でしたが、全員がスーツ着用で発表に臨みました。中間発表会は小規模の分科会形式で行われましたが、いずれの分科会においても学外の産業界から数名の方がコメントータとして出席されました。ゼミでの研究活動は後期も引き続き行い、2月には「金城ビジネス学会」で最終発表を行います。



若者視  
地域

2015.04 → 2016.03 **ビジネス実務学科の1年間**



点で紐解く  
社会の「今」

# 金城ビジネス学会 第6回 年次大会開催

**2**月10日、「金城ビジネス学会」第6回年次大会を開催しました。金城ビジネス学会では、ビジネス実務学科の2年生が1年間にわたって行った研究活動の成果を発表します。研究活動は産業界の協力を得ながら行っており、夏には5分科会に分かれて「中間発表会」を行いました。今回の発表会は1年間の集大成です。

参加者数は、発表者の2年生をはじめとして、ビジネス実務学科1年生、地域の

方々、産業界の方々、さらには金沢工業大学からも参加をいただき、総勢約360名となりました。発表件数は白山商工会青年部を含む28件で、2会場に分けて開催しました。各会場100名を超す聴衆の中、2年生は緊張しながらも立派に発表をこなしました。また、多くの発表が地域の団体・産業界と連携したこともあり、外部の方々からも多数の質問が出ました。

全発表終了後、別会場でポスターセッションを行いました。1年生は、聞けなかった発表の説明を受けたり、興味を持った発表の成果物を見たりしました。さらに、本学が大学間連携を進めている金沢工業大学の方々（大学院生6名含む）10名が参加され、特にポスター発表で発表者と交流している様子うかがえました。



発表タイトル

- A1 息を絶やさない
- A2 息を絶やさない
- A3 息を絶やさない
- A4 息を絶やさない
- A5 息を絶やさない
- A6 息を絶やさない
- A7 息を絶やさない
- A8 息を絶やさない
- A9 息を絶やさない
- A10 息を絶やさない
- A11 息を絶やさない
- A12 息を絶やさない
- A13 息を絶やさない
- A14 息を絶やさない

- B1 息を絶やさない
- B2 息を絶やさない
- B3 息を絶やさない
- B4 息を絶やさない
- B5 息を絶やさない
- B6 息を絶やさない
- B7 息を絶やさない
- B8 息を絶やさない
- B9 息を絶やさない
- B10 息を絶やさない
- B11 息を絶やさない
- B12 息を絶やさない
- B13 息を絶やさない
- B14 息を絶やさない



# ガイドリーダーとオープンキャンパス

**本**学科では、オープンキャンパスに向けて、当日の案内役となるガイドリーダーを養成しています。学生たちは、オープンキャンパス同様のプログラムのロールプレイを行いリハールを行うなど、リーダーとしての資質を高める研修を重ねてきました。8月のオープンキャンパスでは、参加した高校生と一緒にワークをしたり、ランチタイムにクイズを楽しんだり、またふだん自分たちが学生生活を送っているキャンパス内を案内したりと、オープンキャンパスを充実させ大いに盛り上げてくれました。

リーダーとしてのプレッシャーはあるけど、やりがいがあります。



少しでも金城の魅力を伝えられたかな？



# 夏期インターンシップ報告会

**夏**期インターンシップ報告会が、9月24日に開催されました。報告会では、この夏インターンシップに参加した全学生68名が集まり、自らが体験してきたことや研修を通して学んだこと、研修中に失敗したことなどを報告しました。今年には例年に比べ参加者数が多く、3教室に分かれての報告会でした。研修先は、一般企業、市役所、病院、ホテル、ブライダルなど多岐にわたり、学生たちは他の学生の報告を聞くことで、さまざまな業種、職種の理解を深めることもできました。後期の授業では、インターンシップで足りないと感じたところを補い、さらに春期のインターンシップへとつなげていきます。



自分たちにとって「働く」という事の意味を考えさせられました。

# ホテル・観光コース 国内旅行研修

**ホ**テル・観光コースでは、9月8日～10日間「国内旅行研修」を首都圏で行いました。この研修は、ホテルや旅行業、テーマパーク、地域社会について総合的に学修するものです。学生たちはこの3日間でウエスティンホテル東京でのホテル研修、流通経済大学国際観光学科での研究交流会、ディズニーシーでのサービス研修を受けました。これら経験に基づき、ホテルサービスや旅行商品作成、テーマパークマネジメントなど、後期から始まる専門科目の理解を深めていきます。



## 新入生合宿研修

**4**月4日(土)～5日(日)に国立能登青少年交流の家で行われ、1年生134名と2年生リーダー25名が参加しました。入学当初のガイダンスを兼ねた研修であり、本学の「建学の精神」や本学科の「教育方針・内容」「幼児教育の意義や責任」などを早期に理解させること、またクラスの親睦を深め相互に学修への努力や協力を図るために必要な信頼関係を構築することを目的に行いました。この研修は、2年生リーダーが積極的な挨拶、目配り・気配りによるきびきびとした行動で研修をリードすることで、新入生に与える影響や意欲を高めています。今回のレクリエーション研修でも、授業で学んだ体操、手遊び、パネルシアターなどを楽しく紹介しました。新入生たちからは、『保育者になるための具体的な目標が持てて良かった。』『先輩たちの挨拶の声の大きさにはびっくりした。私も来年、リーダーをやってみよう。』『クラスミーティングでは、グループワークで自分の意見を伝えることができ、みんな同じ気持ちをもっていることもわかり嬉しかった。』『大学生活が楽しみにになり、絶対に保育者になりたいという気持ちが強くなった』などの感想が聞かれ、1年生の修学姿勢が笑顔と共に深まった有意義な研修会となりました。



理想の保育者を目指して2年間がんばります!

## “幼児教育学科「特化教育」10年の歩み”から

**幼**児教育学科に「特化教育」が編成されて本年で10年となりました。県下一円の子育て関係者の多大なご理解とご援助を頂きながらの10年であったかと思えます。

本事業2年間の実践を重ねたところに、文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム」に選定されました。全国広しといえどもこのような実践の先行は見当たりません。

基幹となる考えは、「より専門性に富んだ質の高い保育人材の養成」です。具体的には、現行のカリキュラムに上乘せる形で、4分野の特化を図るもので、その4分野とは、「乳児保育」「障害児保育」「音楽」「美術」です。2年次生は、4月から履修を開始し前期後期を経て、卒業までに演習科目6単位を取得する仕組みです。1年間を通して、毎木曜日は、『特化デー』として時間割に組み込まれます。この授業が多くの高校生にも浸透し、本学幼児教育学科志望の動機にもなっています。平成27年

## 保育施設実習

**保**育士国家資格、幼稚園教諭2種免許状を取得するにあたって最も大切なのが実習です。

1年生は、12月の本実習に向けて夏休みに3日間の体験実習に行きました。この体験は、保育所の一日の流れや保育士の職務内容を知ることが目的です。11月7日には、保育所の主任保育士や先輩保育士の方に来ていただきました。初めての实習に臨む心得や具体的な指導の内容など、うまくいかなくて当たり前、目の前の子どもたちと多くのかかわりを持つようにいろいろなことに挑戦して欲しい、と温かい励ましの言葉をいただきました。12月7日～18日の10日間、1年生は初めての本実習である保育実習Ⅰに挑戦してきました。実習中、保育記録や指導案に苦戦しながらも、有意義な実習をさせていた

だいたようです。実習前は不安がっていた1年生が、「大変だったけど、良い勉強になった!」と帰って来ました。この気持ちで2年生の実習へと繋がるように次の課題に取り組むことを授業内で語り合い決意しました。

2年生は、5月21日に幼稚園の園長先生2名と卒業生、また7月17日には施設より指導員の方と卒業生に来て頂き、実習に向けて大切なこととお話いただきました。この講演会では、不安に思っている学生の気持ちを受け止め、細かなアドバイスや心構えをたっぷりお聞きすることが出来ました。実習生はできなくて当たり前、子どもたちや利用者の方と自分からふれ合いどんどん挑戦し、多くのことを学んで欲しいと温かい激励を受けました。そして、6・8・9月の間に20日間の幼稚園教育実習、10日間の保育実習Ⅱ、10日間の施設実習をすべて終了し、2年生は心なしか多少保育者の顔になって戻って来てくれました。

## 2015.04 → 2016.03 幼児教育学科の1年間



度の特化の展開を紹介します。

### ①「乳児保育」

乳児教育を理解するためのプログラム、現場保育を意識しディスカッションやワークショップ等を組織。また、保育現場に赴き、現場職員とのカンファレンス、保護者対応の実践を学ぶ。(本年は白山市内保育所をはじめ9カ園に参加)

### ②「障害児保育」

“目の前の子どもから学ぶ”という視点を大切に、講義・演習そして障害者ご本人やご家族をお招きしての講演会・ディスカッション、ミュージック・ケア等を展開。また、現場参加と保育カンファレンスの推進。(本年は、保育所・幼稚園・認定こども園・障害児通園施設・障害者更生施設等15事業所を対象)

### ③「音楽」

音楽理論・キーボード・作曲法、個人ピアノレッスン・発声法の個人指導そしてマーチング技法・指導法の研究等、幼教ミュージック・フェスティバルの開催に併せて西南幼稚園とのコラボレーション。(本年は、1月30日、金沢市文化ホールで開催)

### ④「美術」

保育現場や地域に入り込んで、美術を通して人や社会と交わっていくおもしろさとコミュニケーション、本年は、広場

あさがおや小松空と子どもの絵本館、付属西南幼稚園でのアート体験等、また金城祭でのパフォーマンス、絵本の製作も好評。

これら4特化は、毎年2月、学びの成果を発表しています。今年は、2月9日に県内から保育関係者15名を助言者としてお招きして開催しました。最後に、「特化が生み出したもの」「特化が良き受容体となったもの」を挙げます。

1) リカレント教育…現職の保育士等の方々に、再び大学で学んで頂く社会人の学びのシステムです。5年間で34名の方が学ばれました。

2) 先輩との交流会…特化の先輩との会いは良き交流・学びの場となりました。

3) 出張講座…講演料なしで本講座を開催しています。今年で6年、年間、県下一円より45～70回程度の出張要請があります。

「特化教育」は来季から、「KINJO 特化」と名称も新たに、11年目を歩み出します。今後とも、どうぞ応援下さいませようお願い致します。



ボランティア活動を通して、地域の魅力や問題を知ることができました。



## 地域貢献活動

**今**年度も本学幼児教育学科の学生有志33名による地域貢献活動が、大学コンソーシアム石川より地域貢献型学生プロジェクト支援事業に採択されました。

今年度は「親子でふるさとの魅力体験を支援」と題し、白山市観光推進部、NPO法人おやこの広場あさがお、西南幼稚園、近隣保育園、活動地区町内会と協力の上で、白山麓の自然に触れ、伝統文化を学ぶためのイベントを計8回企画・開催しました。学生は、幼児教育学科としての専門性を活かして児童・幼児の世話にあたる他、高齢者や幼児には困難な作業にも従事しました。最終的に、2月20日の大学地域連携アクティブフォーラムにおいて、パネルと口頭の双方で活動報告を行いました。

同様の世代間・地域間交流事業を6年継続し、活動の回数や内容は年々充実する傾向にあります。例年と同じく今年も、母親と子どもの参加が多く、父親の参加は少なめでした。また、地区住民の参加者が減少し、交流の意義が薄れている感もあります。さらに父親や地区住民の参加が増えるよう、活動の存在の周知や活動内容の改善に努めていきます。



## 初年次教育「基礎教養」

**1**年生対象の一般教育科目「基礎教養」では、2年前から1、2年生の担任チームが中心になり「初年次教育」に取り組んでいます。新入生は大学での学修方法から始まり、人間関係の構築、生活習慣、対人マナー、健康管理、保育者としての心構えまで、大学生、特に保育を専門的に学んでいく学生としての基本を幅広く学び意識を高めていきます。

本科目では、おもに「アクティブラーニング」の手法を使っていることが大きな特徴です。これは、教員が教え込むのではなく学生が主体となる学びで、グループワークなどを通して人間関係を広げ、いろいろな考えを「話す」「聴く」「受けとめる」「考える」「発表する」演習を重ねています。2年生とグループで話し合う機会(チュートリアル)もあります。

1、2年生の担任は毎週集まり意見交換をしながら次の授業につなげていますが、他の授業や2年次の学びに繋がることを願い、来年度からは通年の授業「基礎教養(学びの発見Ⅱ)」に名称変更します。

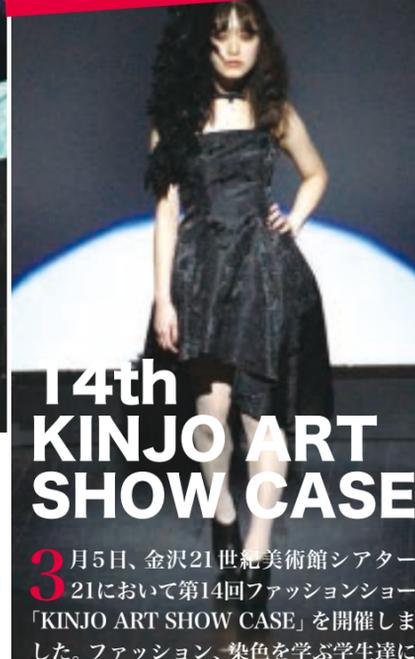


## 第39回金城大学短期大学部 美術学科卒業制作展

2月10日(水)~2月14日(日)の日程で21世紀美術館 地下1F 市民ギャラリーにて第39回「卒業制作展」を開催しました。油画・日本画コース、デザイン・映像コース、マンガ・キャラクターコース、ファッション・工芸コースの4コースの2年生・研究生あわせて74名が、2年間の集大成となる作品を制作・展示しました。会期中の来場者数は4,400人を超え、国内外の多くの方々にご観覧いただきました。また卒業制作の作品だけではなく、ブックデザイン演習で制作した本や海外研修旅行の旅日誌・スケッチ等、美術学科で取組んでいる授業の作品も展示し、日頃の学習の成果を発表しました。この日のために、2年生・研究生共々苦難を乗り越え全力を尽くし、無事展覧会を終える事が出来ました。



### 2015.04 → 2016.03 美術学科の1年間



### 14th KINJO ART SHOW CASE

3月5日、金沢21世紀美術館シアター21において第14回ファッションショー「KINJO ART SHOW CASE」を開催しました。ファッション、染色を学ぶ学生達による集大成の発表会です。ショーでは、学生が中心となってモデルを担当し、デザインを学ぶ学生が制作した動画をステージ背景に投影して演出しました。また、ダンス部がパフォーマンスで盛り上げました。会場は観客で埋め尽くされ、若さ溢れるショーが華やかに繰り広げられました。



### 地域美術演習

平成27年度は鶴来商工会からの依頼があり、鶴来町にある菓子店のロゴやパッケージのデザインや案内看板などの制作を行いました。「地域美術演習」では地域に根ざした大学を目指し、自分たちの通う大学の周辺地域がどのようなところなのかを知る機会として宿泊研修を

行い、地域の文化遺産や自然に触れ、学生が自ら取材をし、デザイン企画、ポスター、マンガ、キャラクターデザイン、絵画、陶芸、染物などの各コースの特色に合わせた作品制作を行います。夏休みには合宿研修を行い、11月に地域美術演習成果展として白山美術館で展示を行いました。8月11日には事前研修として白山市立松任博物館の職員の方に鶴来の歴史や民話などの講話をしていただきました。9月3日~4日と1泊2日で鶴来町で合宿研修を行いました。初日は旧一宮駅舎や白山比咩神社、パーク獅子吼、寺院、酒蔵など鶴来の町並み散策を行い、2日目は依頼があった店舗の取材やスケッチを行いました。身近にこんなにも歴史がある地域があったことに驚き、鶴来の良さを再発見をした合宿でした。平成28年2月にLet's鶴来店にて成果物の展示会をさせていただきました。今までは制作物を地域の方々に見せる機会があまりなく残念でしたが、初めて地域の施設を利用して展示することが出来ました。

### 加賀千代女アートショップ

昨年度に引き続き、白山ロータリークラブ様からの要請を受け、12月18日(金)~20日(日)JR金沢駅もてなしドーム地下にて「加賀千代女」をテーマにした「千代女アートショップ」を期間限定で開店しました。美術学科4コースの2年生69名で加賀千代女についての取材を行い、5回の全体会議を経て商品の企画から制作、ショップ運営に至るまで学生主体で行いました。商品製作では、加賀千代女を若々しい感性で表現した器やランチョンマット、カレンダー、アクセサリ、缶バッジ、漫画本、原画販売など各コースの特色を活かした魅力的な商品が店先を彩り、お客さまの目を引きました。また第15回北陸三県 絵画/デザインハイスクール選手権の作品展も併設し、多くの高校生にもご来店頂きました。ものづくりだけではなく自分たちで運営することで、商品を手にとってもらうための工夫を行ったり、コミュニケーションの大切さを知る等有意義な経験になりました。

### 海外研修旅行

美術学科2年生希望者を対象として、「海外研修旅行」を9月7日(月)~14日(月)の日程で実施しました。参加学生は20名、行き先はプラハ・チェスケークルムロフ・ウィーン・ブタペストの4都市で、ヨーロッパの古都として栄えるこれらの地で、伝統ある深い文化と美しい街を堪能し、審美眼を磨き多様な文化を学ぶことを目的に研修を行いました。プラハは、赤屋根の街並みが続く世界遺産に登録される魅力的な街です。美術ではミュシャが活躍したことで知られる芸術の街でもあります。チェスケークルムロフは、中世のオリジナルを残す街全体が世界遺産に登録される美しい街です。オーストリアの首都ウィーンでは、ハプスブルグ家の栄華の数々を調度品で見ることが出来るシェーンブルン宮殿、また有名な名画が所蔵される美術館を巡りました。ハンガリーのブタペストではドナウ川クルーズの幻想的な光景に、皆で感動を共有しました。異文化に触れ、大きな学びと感動を得る研修旅行でした。

### 平成27年度美術学科受賞・採用・連載一覧

第35回 北九州日本画公募展	入選	山市真緒、日向ちえり、木下裕梨菜、谷内裕紀子、山原彩香、小池田あかり、井波雅美(2年)
第21回 マスターズ大東京展	学生奨励賞	日向ちえり、山市真緒、谷内裕紀子(2年)
第20回 七尾日創展	中能登町教育委員会賞	谷内裕紀子(2年)
	中能登町議会議長賞	山市真緒(2年)
	たち画材賞	日向ちえり、小池田あかり(2年)
第10回 公募 白山日創展	入選	木下裕梨菜、山原彩香、沖竜次、井波雅美(2年)
	たち画材賞	日向ちえり(2年)
	入選	山市真緒、木下裕梨菜、山原彩香、沖竜次、井波雅美、小池田あかり(2年)
第39回公募 日創展&新院展選抜金沢展	白山市議会議長賞	山市真緒(2年)
	石川県教育委員会賞	谷内裕紀子(2年)
	金沢市教育委員会賞	日向ちえり(2年)
	白山市教育委員会賞	小川友香(1年)
第15回佐藤太清賞公募美術展	入選	木下裕梨菜、山原彩香、沖竜次、井波雅美、小池田あかり(2年)
第30回上川の現代工芸展	入選	嶋崎莉花、中野かみ子(2年)
第27回黒潮マンガ大賞	大賞	上屋雅子、山本朱梨(2年)
まんがホーム	1月号掲載	堀圭太(2年)
週刊ヤングジャンプ月例新人マンガ賞 第25回シンマン賞	「期待賞」+「審査員特別賞」2月に読み切り掲載予定	沼田佳奈(研究生)
第14回MFコミック大賞 ジーン部門	ステップアップ賞	小泉真之介(平成25年度卒業生)
からくりコンテスト@サイエンスヒルズこまつ2015	ポスター採用 パンフレット採用	北市木の実(平成24年度卒業生)
自衛官募集ポスター公募	最優秀賞 優秀賞	松陰公美 藤住和樹 萩原楓(2年) 山崎真湖、川崎真衣(2年)
第6回愛知県印刷協同組合他主催ポスターグランプリ	王子製紙(株)賞	磯見稚子(2年)
千代尼通りフラッグコンテスト2015	採用	高森菜衣、竹内梓、田中成美、川崎真衣(2年)
第11回世界ポスタートリエンナーレトヤマ	入選	野畑桃花(1年)
第42回 石川県デザイン展	金沢市教育委員会賞(学生部門最高賞)	長根尾勇太(平成22年度卒業生)
	銅賞	川崎真衣(2年) 児島ゆりあ(2年)
「君と時計と嘘の塔」連載開始	2017年ARIA5月号より	西の木はら(平成23年度卒業生)



4コマ漫画のコーナーは、美術学科マンガ・キャラクターコースの有志によって制作されています。同コースでは遊学館高等学校ホームページ「遊Uコミック」での4コマ漫画の定期連載やイベントでの似顔絵描き、金沢の坂をテーマにしたアニメーション制作(YOUTUBEにて配信)等、幅広く活動しています。

走り続ける金城短大卒業生の  
ご活躍やメッセージをご紹介します

## KINJO RUNNER

### 同窓会会長 三宅厚



昭和52年度 美術学科 日本画専攻 所属協会：日創会理事長

#### 「KINJO WALK」発刊に寄せて

金城短期大学創立40周年おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

1976年4月北陸本線加賀笠間駅のほど近くに金城短大は創設されました。当時まだニュータウンは無く周囲は田んぼばかり、のどかな田舎の風景の中でコンクリート打ちっばなしの校舎は大変斬新で目を引くものでした。

開学時、美術科74名、幼児教育科202名、金城保育学院の2年生100名、計376名のスタートでした。私は美術科の1期生として入学いたしました。

当初は体育館も実習棟も出来ておら

ず、美術の実習授業は普通教室で、体育の授業はリズム室で行なわれました。施設の上での不自由さはあっても、先生方の丁寧で熱心な指導はおそらく他のどこにも負けないものだったと思います。

暑い夏休み、公募展に向け学校に泊り込んで大作に挑んだことや、無泊2日のスケッチ合宿等、教師も学生も開学のエネルギーに溢れていたように思います。そしてそれが今の私の基礎になっています。

サークルやクラブも仲間が集まって立ち上げていったものがほとんどでした。放課後クラスの皆で夜遅くまでワイワイ言いながら大学祭の準備をしたこと、松任の商店街のメインストリートで仮装行列をしたこと等、懐かしい思い出です。

これまでの40年間に金城短大はビジネス実務学科や専攻科が新設され、金城大学の開設と共に金城大学短期大学部となりました。

これに伴い同窓会は金城大学短期大学部同窓会となりました。幼稚園教育専門学校、保育学院の卒業生合わせて会員総数14,500名を超える大変大きな組織となりました。

今年金城短期大学部創立40周年記念事業といたしまして、6月28日から7月

3日まで金沢21世紀美術館におきまして「同窓会美術展」を開催します。「記念総会」は8月20日にホテル日航金沢で開催し、ジャズシンガーの綾戸智恵さんの講演会、総会、懇親会を行ないます。たくさんの同窓生の出品と参加をお願いいたします。

学生時代自分たちの大学の前を新幹線が走ることなど想像もしていませんでした。このような大きな時代の変化に合わせて変遷をし発展する金城学園の歩みに遅れることのない様に同窓会としての役割を果たしていかなければと思います。

若く柔軟な考えを持つ方々の参加協力を心よりお待ちしております。



【卒業生の大学等における学び直しに関するアンケート調査】

## 卒業生の皆さま ビジネス系の「学び直し」についてアンケートにご協力ください。



本学では、社会人向けの新しい学習プログラムの開発に向けて、検討を進めています。特にビジネス系の実践的・専門的内容のプログラムを考えるに当たり、卒業生のみならず社会人、社会人の「学び直し」について、アンケート調査を実施することといたしました。つきましては、左部の二次元バーコードから携帯電話でWebサイトにアクセスしていただき、ご回答くださいますようお願いいたします。



- ご回答期限**  
平成28年4月1日(金)～5月8日(日)〆切
- ご回答Webサイト**  
左部の二次元バーコードから、携帯電話でアクセスして下さい。
- 照会内容についての質問先**  
お問合せはE-mailにてお願いいたします。  
メールアドレス: chiiki@kinjo.ac.jp  
メールの件名: 『【質問】社会人の学び直しアンケート調査』  
担当: 瀬戸、出邑

**★食レポ★**  
短期大学部棟にある第一食堂には、通常の券売機で購入するランチや定食のほか、現金で購入出来るサイドメニューが豊富で大人気です。学食のスタッフさんにお伺いした売れ筋人気メニューを学友会会長はじめ学生たちが食レポしました。

**金城カレー ¥390**  
エビフライも唐揚げもぶりぶりです。星形のポテトフライも可愛くてほくほく♪コクのある甘辛で、どこか懐かしい庶民的な味わいは、辛いのが苦手な人にも、好きな人にもおすすめです！(Kさん)

**日替わりランチ「鶏肉のトマト煮込」 ¥430**  
トマトの酸味と甘みのバランスの良いソースが鶏肉にしみ込んで口の中で踊る♪にんじんとごぼうのきんぴらは繊維たっぷり栄養バランスがとっても良いです。(Aさん)

**唐マヨ丼 ¥390**  
モチモチしたご飯に唐マヨの甘いタレが良く絡んで絶品！紅生姜がアクセントになります。(Mさん)

**アメリカンドッグ 120円**  
ふわふわしている甘い生地がマスタードとケチャップにマッチしています。棒にへばりついたカリカリが一番の食べどころです。(Yさん)

**皮付フライドポテト 120円**  
午前中で売り切れ

**ラーメンフェア**  
チゲ、塩、とんこつ、酸辣湯、醤油、味噌 ¥310  
いつものメニューにはないラーメンが年末期間限定で楽しめます。昨年は全てのラーメンを制覇しました！チゲラーメンは辛過ぎないスープが細麺に良く絡んで温まります。(Kさん)

**今川焼 おぐら・カスタード 100円**  
粒あんがおいしいです。ちょっと小腹がすいたときのおやつにぴったり。(Nさん)

**ミニカツ丼 ¥300**  
普通のメニューの丼より小さいサイズ感が良い！お値段もうれしいです。(Rさん)

**Information**

## 加藤晃学園長・前理事長の書籍出版

半世紀の永きにわたって理事長職を務めた加藤晃学園長の足跡が、『加藤晃回顧録遊学のころ』(A5判248ページ、定価1,500円+税)と題した単行本として、7月4日に刊行されました。「教育とは何か」を問い続けて50年、若者の未来を見つめ続け、三代目の理事長であるが故に背負わざるを得なかった私学経営者の苦悩と葛藤を描いたノンフィクションです。回顧録は、紀伊國屋書店の店舗のうち、北陸三県及び東京の各店舗で販売しています。なお、店頭購入のほか、紀伊國屋書店金沢営業部までファクス又はメールにて御連絡願えれば、送料は無料でお送りいたします。さらに、卒業生の方に限り2割引の特価(1,200円+税)で販売いたします。

**お問い合わせ先**  
 (株)紀伊國屋書店金沢営業部  
 Tel. 076-231-6210 / Fax. 076-222-4152  
 E-mail: kz00@kinokuniya.co.jp (0は数字)